



新春講演会

CONTENTS

- ▶ 新春講演会 2~3
- ▶ 税に関する絵はがきコンクール表彰式 4
- ▶ 盛岡税務署からのお知らせ 5
- ▶ 老舗訪問 vol.10 佐々木建設株式会社 6
- ▶ 公益事業・支部事業 7
- ▶ セミナーのご案内 8

 公益社団法人 盛岡法人会

インターネットセミナーのご案内

ホームページから無料でセミナーがご覧いただけます。

<http://iwate-ho.jp/morioka/>

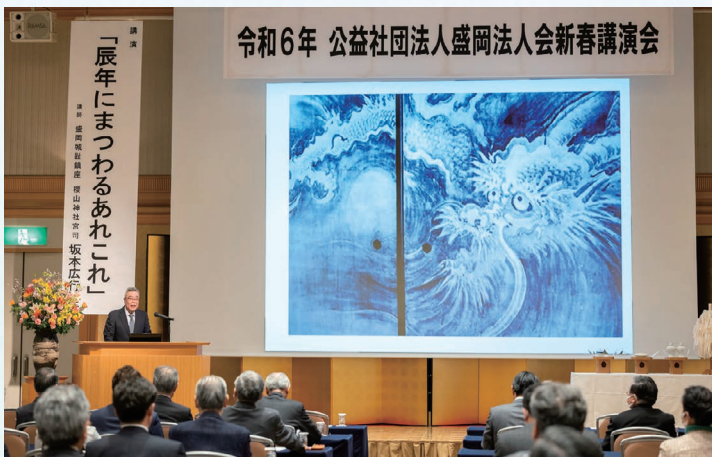
会員 ID : hj1301

パスワード : 4955

新春講演会

(株)いわてアスリートクラブ 代表取締役社長 櫻山神社宮司 坂本 広行氏が講演

令和6年1月26日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて、盛岡法人会・青年部会・女性部会合同の新春講演会が開催された。



2年ぶりの実施となった昨年に引き続き開催された吉例の新春講演会。今年、(株)いわてアスリートクラブ代表取締役社長の秋田豊氏と、櫻山神社宮

司の坂本広行氏による2講演が行われた。

冒頭の挨拶には佐藤重昭副会長が登場し、新年早々に起きた能登半島地震と羽田空港での衝突事故に触れ、亡くなられた方々や被害にあった皆さんにお見舞いの言葉を述べた。また、東日本大震災の際に全国の法人会から多くの支援を受けたことにも言及し、今後予定されている能登半島地震の義援金への協力も呼びかけた。

今年は、講演の第一部と第二部の間に、女性部会が主催した「令和5年度税に関する絵はがきコンクール」の表彰式も実施。盛岡地区の入賞者13名（うち2名が欠席）に賞状が手渡された。

さらに今年は4年ぶりとなる新年交賀会も行われ、和やかな雰囲気の中、会員が交流を深めた。

【第一部】

辰年にまつわるあれこれ

盛岡城址鎮座 櫻山神社 宮司 坂本 広行氏



講師 坂本 広行氏

なり、歴史的な転換や予兆を感じさせる一年となるといわれている。また過去の辰年を振り返ると、大谷翔平選手の日ハム入団（平成24年）、青函トンネル開業（昭和63年）、ロッキード事件（昭和51年）、東京オリンピック（昭和39年）など、「時代が動いていく気配を感じる干支ではないか」。

例年であれば第二部に「ご登場いただき坂本氏だが、この日はどんと祭の合間を縫ってのご出演ということで第一部に登場。「辰年にまつわるあれこれ」と題して講演を行った。

2024年の干支（十干と十二支の組み合わせ）は「甲辰（きのえ・たつ）」。「硬い殻を破るような勢いがあり、新たな物事が始まる動きを感じさせる年と

本に伝来。古代からもともとあった水神や蛇神に対する信仰と融合しながら、やがて水や雨、天候を掌握する「龍神」として信仰の対象になっていったと坂本氏は話す。龍神は、水の神、五穀豊穡の神、豊漁の神として民間信仰の対象にもなり、社名に「龍（竜）」がつく神社は全国に200社以上あるという。盛岡では昔、清らかな水が湧



くところを「すず」と呼び、そこには龍に見立てた縄を張る風習もあった。

辰年生まれの人々の性格は、「気位が高く勝気のため困難事によく耐えるが、猪突猛進して失敗を招くこともある。著しく変化のある運命。人の長となる特質があり、精進すると元来の強い運勢も後押しし、晩年に良運を獲得して他人のうらやむ人生を送ることができる」と解説。

講演後には、工藤隆一副会長が壇上に入り、供えられた祭壇に向い、参加者とともに二礼二拍手一礼で参拝を行った。

【第一部】

一流の思考力

(株)いわてアスリートクラブ

代表取締役社長 秋田 豊氏



講師 秋田 豊氏



第二部には、いわてアスリートクラブの秋田豊氏が登壇。秋田氏は、サッカーワールドカップに出場するなど世界に通用するディフェンダーとして鹿島アントラーズ、名古屋グランパスエイトなどで活躍。その後、京都サンガFC、FC町田ゼルビアの監督を経て、2020年よりグルージャ盛岡の監督に就任。グルージャを初のJ2昇

格に導いた後、2022年よりオーナー兼社長を務めている。

演題は「一流の思考力」。自身のこれまでの歩みを振り返りながら、秋田氏がどんな夢や目標を持ちながら生きてきたのかを軽妙な口調で語った。

幼い頃からのサッカーエリートかと思いきや、秋田氏のスポーツとの出会いは兄がしていたソフトボール。その影響で野球が大好きな少年だった。小学2年のとき、たまたま出会った顧問の先生に誘われてサッカー部へ。「子どもの頃から負けず嫌い。サッカーもだんだんとうまくなっていった」という。中学ではいったん野球に入部したものの、またもコーチに誘われサッカー部へ。高校では県内トップのサッカー部を有する高校を希望したがかなわず、2番目に強い高校の監督から声をかけられ愛知高校へ。「人との出会いで今ここに立っている」と話し、「人から言われたことに対し最初から拒否するのではなく、まずは受け入れてみることも大切」と言葉を重ねた。

「サッカーで食べていくこと」を決意した高校時代には、誰にもない武器が必要だと考え、ヘディングを自分の強みにしようと猛練習を重ねたという。「だから髪が薄くなったと言われますが、薄くなったのはまゆげ」との

言葉に会場からは笑いが起きた。

これまでを振り返り、秋田氏は「3つの思考が大切」と語る。

その一つ目が「将来のプランニング」。1カ月後、半年後、1年後、3年後：と具体的なプランを立てること、今、自分のすべきことが明確になると話す。2つ目は「発想の転換」。1998年のワールドカップ韓国戦での惜敗を振り返りながら、「失敗を引きずらず、ここから何をすることが大切かを考えることが重要」結果、次の試合では2点をあげ大会MVPに選ばれた。そして3つ目が「責任感」。自分勝手にしてはうまくいかない、チームとしてのタスクを果たした上で自分の良さを出すことが必要性だとまとめた。

経営者という新たなフィールドに踏み出した秋田氏。今後の活躍への期待がより膨らむ講演会となった。





令和5年度 税に関する絵はがきコンクール表彰式

公益社団法人盛岡法人会女性部会主催

1月26日に開催された「新春講演会」に合わせ、来賓の工藤隆一副会長、盛岡税務署長の新井場敏勝氏列席のもと、「令和5年度 税に関する絵はがきコンクール」の表彰式が行われた。このコンクールは、当会が小学6年生を対象に行っている税金出前教室で学んだことを絵はがきに書いて応募いただくもので、令和5年度は県内から1952作品（うち盛岡地区から294作品）の応募があった。

受賞者代表あいさつ



厨川小学校 柏田幸梓さん

主催者あいさつ



女性部会長 池野 環

主催者である池野環女性部会長は、「税に対する自分の考えやメッセージを、絵はがきという小さなキャンバスに個性豊かに表現してくれた」とあいさつ。続く表彰式では、盛岡地区の入賞者13名（うち2名欠席）一人ひとりに、壇上で表彰状と記念品が手渡された。受賞者を代表し、東北六県法人会連合会優秀賞・盛岡法人会会長賞を受賞した盛岡市立厨川小学校6年の柏田幸梓さんが「税金が私たちの命を守るためであることを知り、税金を大切にしてい



【入賞者（盛岡地区関係）】

入賞区分	氏名	学校名
東北六県法人会連合会優秀賞・盛岡法人会会長賞	柏田 幸梓	盛岡市立厨川小学校
盛岡法人会女性部会長賞	金 愛美	盛岡市立河北小学校
盛岡税務署長賞	佐々木愛莉	盛岡市立太田小学校
学校奨励賞	笹森 優芽	盛岡市立仙北小学校
学校奨励賞	飯塚 紅	盛岡市立桜城小学校
入選	佐々木 妃	盛岡市立桜城小学校
入選	大坪 瑞穂	盛岡市立大慈寺小学校
入選	永瀬 瑛侍	盛岡市立仙北小学校
入選	伊藤あかり	盛岡市立仙北小学校
入選	菅原 光翔	盛岡市立仙北小学校
入選	野川 莉李	盛岡市立仙北小学校
入選	櫻 礼唯	滝沢市立一本木小学校
入選	角田 香子	盛岡市立桜城小学校



入賞作品は盛岡法人会ホームページに掲載しています。

「きたいと思った」と大きな声であいさつすると、会場は大きな拍手に包まれた。

使ってみると便利です!
キャッシュレス納付!

キャッシュレス納付の3つのメリット!

- 自宅やオフィスから納付可能!
- PCやスマホで簡単手続き!
- 現金の準備が不要!



<p>おすすめ!</p> <p>インターネットバンキングによる納付</p> <p>納付方法</p> <p>インターネットバンキング口座から納付する方法です。</p> <p>こんな方にオススメ!</p> <p>普段からインターネットバンキングにより決済する機会の多い方</p>	<p>おすすめ!</p> <p>ダイレクト納付</p> <p>納付方法</p> <p>e-TaxやeLTAXIによる簡単な操作で事前に届出をした預貯金口座から、口座引落しにより納付する方法です。</p> <p>こんな方にオススメ!</p> <p>源泉所得税や個人住民税（特別徴収分）など納付の機会が多い方、ご自身で振替日を指定したい方</p>
---	---

今号は、株式会社三田商店 大和田雅広常務取締役から、ダイレクト納付を利用された感想についてご寄稿いただきましたので御紹介します。法人会会員の皆様におかれましても、是非、ダイレクト納付のご利用をお願いします。

ダイレクト納付について

株式会社三田商店 大和田 雅広 常務取締役



株式会社三田商店
常務取締役
大和田 雅広

昨今、日本においてはデジタル後進国を脱却するため、老若男女問わずデジタル化の波が押し寄せております。以前から、企業の規模にも依らずデジタル化が進んでいた事は間違いありません。

当社としても税務署への申告は申告として、納税に関しては代表者の捺印が必要であり、当然、銀行に持参しての納付となっております。

いつの頃から定かではありませんが、当社に税務署の担当者が来店し電子申告とダイレクト納付の説明をされ、是非、利用をお願いしたいとお話があり検討させて頂きましたが、進めるには至らなかつたと記憶しております。

その後何度か来店され説明を受け、改めて当社として検討させて頂き利用する事と致しました。手始めとして、金額が少額な印紙税の納付からダイレクト納付を始めました

が、最初は不慣れなため申告と納税には手間取ったと記憶しております。その後は、徐々に慣れ利便さを実感できる様になりました。

多少の時間ではありましたが、税務署や銀行へ行く手間と待っている時間が省け、業務の中断時間を減らす事が出来たことは、幾らかでも成果があったと感じ、その後は消費税や法人税などの納付はダイレクト納付を利用するまでになりました。

ダイレクト納付のメリットは何かと考えると、第一に税務署や金融機関に向くことなく自宅や会社から納付が可能なこと。第二にインターネット環境があればインターネットバンキングなどの契約が不要なこと。第三に即時又は期日指定や期日変更など状況に合わせた対応が可能なこと、特に第三の納付期日の対応は使い勝手が良いと思っております。

会社ごとに利用のメリットの感じ方は違うと思いますが、十月から始まったインボイス制度、その後の電子帳簿保存制度に携わる事務処理を考えると、多少なりとも時間のロスを軽減する手立てにダイレクト納付は大いに役立つと今更乍ら感じております。

現在、大手企業に分類される企業

は、電子申告は義務化となりましたし、今後も人手不足により事務の効率化がさらに進み、何れ大企業と同様に中小企業も電子申告の義務化が求められる時期が来ると思っております。当然、納税も納付書だけでなくダイレクト納付になるのではないかと感じております。

その様な点を踏まえると、税理士さんをお雇っている場合はダイレクト納付による納税手続きをお願いするとか、税理士さんをお雇っていない場合は、税務署の担当者より詳しい説明を受け、自ら金額の多くない納税からダイレクト納付にチャレンジして利便さを知るとか、そろそろデジタル化を進める時期が迫って来ているのではないかと感じております。

当社においても次の世代を担う者が電子申告やダイレクト納付を体験し、今では手放せない状況となっております。多少の時間でも余裕ができる事は他の業務に時間を割り当てることができたり、又、些細な取組が業務全体の見直しに繋がる可能性もあり、多少なりとも社員の勤務時間の使い方向に対する意識を変える事が出来るのではないかと感じております。

現状では、ダイレクト納付の利用率がまだまだ低迷しているようですが、今後を見据え、是非、各企業様に於かれましても無理、無駄とは考えず業務の効率化に繋げる一歩として、電子申告に加えてダイレクト納付を利用して利便さを実感されては如何でしょうか。



2012年竣工 オガールプラザ



2009年竣工 一般国道106号築川地区他道路舗装補修工事



紫波町立紫波第二中学校グラウンド整備工事

老舗訪問

vol. 10

「地域との連携と調和」を目指す

佐々木建設 株式会社 代表取締役会長 佐々木 盛雄



代表取締役会長 佐々木 盛雄

当社は、明治25年（1892年）春5月紫波町日詰石田（当時寺小路）において初代「佐々木孫太」が土建業として土木、建築を創業して今年で132年を迎えることとなります。

昭和28年8月4日岩手県知事登録、昭和44年4月30日佐々木建設有限会社として法人登記し、昭和54年6月9日に佐々木建設株式会社に変更を行いました。

初代「孫太」は明治25年5月より昭和3年4月4日まで在任、2代目「孫次郎」は昭和3年4月5日より稼業を引き継ぎ、昭和44年4月30日に3代目「孫吉」に承継さ

れました。3代目「孫吉」は昭和18年12月召集、中国東北地方（旧満州）で終戦を迎えますが3年間シベリアに抑留、昭和23年に復員することができました。その後、「孫吉」は平成5年12月14日まで、そして4代目「孫二」へと受け継がれます。4代目「孫二」は平成19年3月31日まで社長を務めました。5代目「盛雄」は4代目「孫二」の実弟にあたり、平成19年4月1日より令和6年3月31日まで社長を務めました。

国土交通省（旧建設省）は敗戦後の昭和21年にスタートしました。荒廃した国土の復旧、復興を目指しました。後に日本の高度経済成長を支えるインフラ整備へと様相は変化を遂げていくのです。因みに建設業法は昭和22年に施行されています。戦前は土木工事の中心は河川整備

が遅れていた治水事業、橋梁事業、コンクリート構造物が多かったそうです。戦後の工事内容は多岐にわたることになり現代においては私たちの生活を取り巻くインフラは建設業界の成果であったと言っても過言ではありません。また、近年において地震、大雨による災害、そして大雪による県、市、町道における生活路の確保という除雪の使命も昼夜を問わず担っているのです。

私たちはこれからも地域に認知され続ける企業でありたいと励んでいます。私は代々受け継がれる経営理念である「地域との連携と調和」のもと確実な技術に基づきお客様の満足する製品を提供すること、お客様の期待に応えるために社員全員の意識の高揚と組織的に統一した活動の実践を目指し続けます。また、環境に十分配慮した環境負荷の少ない省エネ設計、施工、リサイクルの促進、循環型社会の形成、廃棄物の有効利用の適正化の推進、環境保全・美化、汚染防止に係る社会活動に積極的に参画し、地域社会との共生に努めて参りたいと考えております。それが、次世代に繋ぐ道しるべであると信じているのです。何事にも永遠はないと言われていますが、私たちの祖先がそう生きてきたように、これからの後継者も責任を果たして欲しいものです。岩手県内には私どもより古くから建設業に携わる企業もあります。その企業様も何かしら、そんなこだわりをお持ちのよう

公益事業

ITセミナー

開催日：令和6年1月29日
 講師：藤原 敬行氏（ナレッジフォー
 ス・パートナーズ）
 演題：経理業務効率化セミナー
 参加者：20名



ITセミナー

開催日：令和6年2月9日
 講師：大谷 更生氏（大谷更生総合
 研究所合同会社）
 演題：生産性向上のためのパソコン整理術
 参加者：14名



確定申告書の見方・書き方講座

開催日：令和6年2月16日
 講師：大友 邦之氏
 （盛岡税務署 上席国税調査官）
 参加者：15名



決算説明会

開催日：令和6年3月6日
 講師：大友 邦之氏
 （盛岡税務署 上席国税調査官）
 参加者：16名



新設法人説明会

開催日：令和6年3月8日
 講師：大友 邦之氏
 （盛岡税務署 上席国税調査官）
 参加者：12名



消費税申告実務対応セミナー

開催日：令和6年3月12日
 講師：川井 隆史氏（かわい公認会
 計士・税理士事務所所長）
 参加者：37名



支部事業

矢巾支部

ビジネス連携交流会

開催日：令和5年12月22日
 講師：松田 満氏（北日本製袋（株））
 場所：矢巾町商工会館 参加者：13名



雫石支部

新春記念講演会

開催日：令和6年1月12日
 講師：天津 木村氏（いわて応援芸人）
 場所：雫石町中央公民館 参加者：90名



都南支部

新春講演会

開催日：令和6年2月1日
 講師：山下 欽也氏（岩泉ホールディングス（株））
 場所：ホテルメトロポリタン盛岡NW 参加者：81名



西根・安代支部

経済講演会

開催日：令和6年2月4日
 講師：菊池 伸氏（東川町長）
 場所：新安比温泉静流閣 参加者：91名



セミナーのご案内

経理担当者向け

電子帳簿保存法改正のポイント

令和6年5月21日(火) 14:00~16:30

講師：池田 有美 氏

行政書士事務所 UMCサポート
特定行政書士



講座内容

- ・電子帳簿保存法とは
- ・インボイス制度のおさらいと今話題の所得税定額減税とは
- ・気をつけたい関係法令概要
- ・進む企業の電子化と電子契約
- ・電子契約書とは メリットデメリット
- ・電子署名と電子証明書 等

中堅社員向け

問題解決思考法

令和6年5月29日(水) 13:30~16:30

講師：大谷 更生 氏

大谷更生総合研究所合同会社
代表社員



講座内容

1. 問題とは
2. 問題解決に必要な姿勢
3. 今すぐ使える問題解決のコツ

目まぐるしく変化する経営環境の中で、一つの業績向上を実現するには、社員一人一人の資質向上が不可欠です。本講座では、問題解決に向けて迅速に行動できる社員を育成できます。

中堅社員向け

行動が早い人になるための段取り術

令和6年7月5日(金) 13:30~16:30

講師：長谷川 孝幸 氏

風土刷新コンサルタント
オフィス ハセガワ 主宰



講座内容

1. 段取りとは何か
2. ムリ・ムダ・ムラの排除
3. 標準作業時間
4. 段取りと時間の改良に必要なもの

本講座では要領よく、無駄のない仕事をするための段取り術を身につけて、仕事に追われる状況から追いかける状況へと転換を図れるように指導いたします。

経営者・幹部社員向け

お店・会社を守るためのビジネスコンプライアンス

令和6年7月17日(水) 14:00~16:00

講師：蔵中 一浩 氏

横浜リンケージ社労士事務所
代表



講座内容

1. コンプライアンスとは何か
2. 最近の有名事件の数々
3. 個人と組織の不祥事
4. 不祥事の顛末と制裁
5. 不祥事が起こる原因
6. コンプライアンスへの体制作り
7. コミュニケーションとコンプライアンス

4月・5月・6月期決算の法人を中心としたセミナー 決算説明会

令和6年5月17日(金) 13:30~15:30

講師：盛岡税務署職員

※会場：いずれも岩手県法人会館

(盛岡市盛岡駅西通 1-3-3)

※定員：各講座先着 40名

※受講料：無料



【年会費口座振替サービス利用のお願い】

このたび盛岡法人会では、会員皆様の利便性の向上を図るために年会費口座振替サービスを導入することと致しました。令和6年度の口座振替日は5月27日です。お手続きがお済でない会員の皆様は、ぜひご利用下さいませようお願い申し上げます。

口座振替をご希望の方は、事務局 (TEL:019-654-4955) までお問い合わせください。

※老舗訪問につきましては、次号よりしばらくお休みさせていただきます。